

教育研究業績

2025年 5月 18日

氏名 大和 広美

| | |
|------------------------|---------|
| 研究分野 | 学位 |
| 教育評価 授業設計 周手術期看護 セルフケア | 修士（看護学） |

研究のキーワード

教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

| 事項 | 年月日 | 概 要 |
|--|----------------------------|---|
| 1 教育方法の実践例 1) 大人の学びを深めるための教育方法 | 令和5年3月 | 大人のまなびとは何かといった大学院教育学研究科での学びを反映し、リフレクションを含め、主体的な学びを促す教育方法（ポスターツアー・グループワーク・シミュレーション教育等）を使用し教育をしている。 |
| 2 作成した教科書、教材 1) 周手術期の教材と評価表の作成 2) 看護学実習に役立つループリック作成法と実用例 | 平成30年4月～現在 平成30年 8月 | 周手術期の手術前から手術後の一連の過程がわかるビデオを作成し毎年更新しながら授業作成している。またその評価もループリック評価を作成し、学生の自己評価・教師のフィードバックを早く行えるようにしている。 近年注目されているループリック評価表を使用して実習評価を作成したもの。日総研出版 |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 1) 看護学部での教育経験 | 平成27年 4月～ | 実習・講義ともに、学生からの評価は、5段階評価で、4以上であった。 |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 5 その他 | | |

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

| 事項 | 年月日 | 概 要 |
|---|-----------------------------|-----|
| 1 資格, 免許 看護師 国際コーチ協会認定 ポテンシャルコーチ 認定心理士 | 平成14年 平成27年10月 令和元年8月 | |
| 2 特許等 | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 4 その他 | | |

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

| 著書, 学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|--------------|---------|-----------|----------------------|-----|
| 1. 著書 | | | | |

| | | | | |
|--|----|---------|---|--|
| 1) 看護学実習に役立つループリック作成法と実用例 | 共著 | 平成30年8月 | 日総研 全160頁 | 学生の能力を育成し、評価するための有効なツールであるループリックの作り方と活用方法を解説した本である。本書は、看護学実習に焦点を当て、実際にループリックを作成し活用できるようになるための手順について基本的な用語から解説している。 担当部分：第3章ループリックの実例pp. 60-130 著者：北川明, 小室葉月, 永井菜穂子, 大和広美 |
| 2) 看護を教える人のためのループリック導入講座 | 共著 | 令和6年8月 | 医学書院 全164項 | 看護師養成機関においても看護実践能力を評価するツールとして普及が進んだループリックづくりの入門書。各領域別・汎用型それぞれで詳細に解説。担当部分：成人看護学の実習のループリックを担当。 著者：北川明, 小室葉月, 永井菜穂子, 大和広美, 土居稚奈, 高野幸子 |
| 2. 学術論文 | | | | |
| 1) プリセプターシップにおける支援者の認識と行動の実態 (修士論文) | 単著 | 平成23年3月 | 医療看護学研究8(1) | プリセプターを支援する看護師の認識と行動の実態を調査するため、関東地区の病院に所属する看護師2380名を対象に質問紙を自記式質問紙を使用し調査した。支援する看護師は、新人看護師やプリセプター看護師への支援を認識していたがプリセプターの支援行動には経験年数、所属部署での勤務年数、プリセプターシップへの学習内容が影響することが示唆された。 |
| 2) 血液透析導入患者の体重管理に向けた共同目標設定効果の研究 | 共著 | 令和3年8月 | 透析ケア27(8)pp. 777-782 | 血液透析導入患者に対し、体重管理についてデータを開示・説明する群と研究者は介入せず観察のみの群で、入院中と退院3か月後の体重管理について介入効果を検証した。 著者：梶田広明, 大和広美, 永井菜穂子, 大嶋浩司郎 |
| 3) 成人看護学実習の評価に関する成果と課題をめぐる文献検討-リフレクションと看護観に注目して- | 共著 | 令和4年6月 | 防衛医科大学校雑誌47(2)pp. 97-107 | 成人看護学実習に関する文献検討を行った。看護技術の実践や見学の有無等、数値で示すことができるような評価はされていた。今後、患者に合わせたケアができたかどうかを判断できるような評価を追加していくことが求められる。また、リフレクションに関する評価は難しく文献数も少ないことから、今後研究を蓄積していく必要がある。 著者：大和広美, 永井菜穂子, 梶田広明, 三輪建二 |
| 4) ゴールシナリオベース理論を用いた授業実践とその評価 | 共著 | 令和5年11月 | 防衛衛生70(11.12)pp. 99-106 | 周手術期看護の授業設計を行い、その実践とCIS尺度を用いた評価を行った。著者：大和広美, 永井菜穂子, 梶田広明 |
| 3. 学会発表 (過去5年) | | | | |
| 1) Study of the explanation effect using body composition analysis and hemodialysis records on weight management in hemodialysis patient | 共著 | 令和2年2月 | the 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science : pp. 256-256 | |
| 2) 保健医療福祉分野におけるダブルケア研究の動向と課題 | 共著 | 令和2年12月 | 日本看護科学学会学術集会 | |
| 3) 臨地実習場面を再現した学内周手術期シミュレーション実習の実践報告 | 共著 | 令和3年2月 | 日本看護シミュレーションラーニング学会 | |
| 4) 成人看護学実習の評価に関する文献検討 | 共著 | 令和3年8月 | 日本看護学教育学会 | |
| 5) 子育てと介護のダブルケアをしている看護師の身体的・精神的健康の実態 | 共著 | 令和3年12月 | 日本看護科学学会学術集会 | |
| 6) 周手術期看護の主體的学修を促す授業実践とCIS尺度を用いた評価 | 共著 | 令和4年12月 | 日本看護科学学会学術集会 | |

| | | | |
|---|----|----------------|--|
| 7) 周術期看護の主体的学修を促す動画やルーブリックを用いた授業実践 | 共著 | 令和4年12月 | 日本看護科学学会学術集会 |
| 8) Assessment of sleep disorders in nurses who are doing double care of raising children and elderly care | 共著 | 令和5年3月 | 26th East Asian forum of Nursing Scholars (EAFONS) |
| 9) Differences in the visibility of VR images depending on the shooting location of post-operative nursing simulation exercises videos. | 共著 | 令和6年3月 | 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) |
| 10) Factors Affecting Intrinsic and Acquired Resilience of Adults Undergoing Hemodialysis in Japan. | 共著 | 令和7年2月 | 28th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) |
| (その他) | | | |
| 1) 看護師国家試験問題解説 メディカ国試対策デジタル | 共著 | 平成29年～ 令和2年 | メディカ出版 |